

4-4 関東地方の GEONET 観測網による地殻変動 (2007 年 12 月～2010 年 12 月) Crustal Movements around Tokai Areas by GEONET GPS Networks (December 2007 - December 2010)

防災科学技術研究所
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

防災科学技術研究所において 1km メッシュの高分解能気象モデルを運用している、関東地方を中心とした地域の国土地理院 GEONET 観測網による、2007 年 12 月から 2010 年 12 月までの地殻変動を解析した。解析手法は既報¹⁾による。

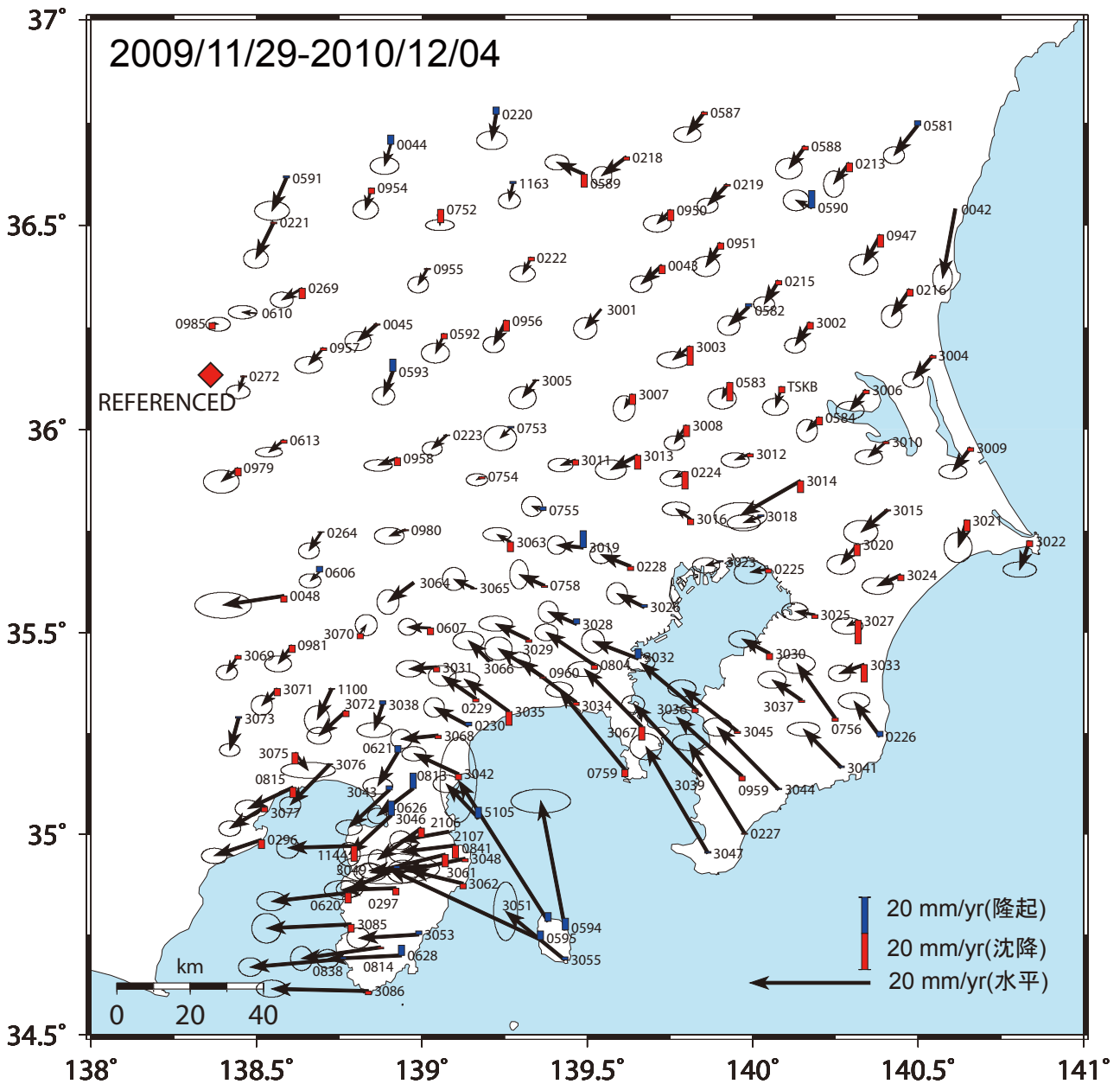
第 1 図は、IGS 白田観測点 (USUD) に対する関東地方の 2009 年 11 月 29 日から 2010 年 12 月 4 日までの 1 年間の地殻変位速度である。水平成分の誤差楕円は 1σ (67%) の誤差を表す。上下成分の誤差は示していない。山梨県中部の中道 (0048 点) は、時系列 (ここでは示さない) をみると、2010 年 8 月中旬頃から西向きの変動が始まっている。観測機器の異常によるものか、観測点近傍のローカルな変動と考えられる。東京都中部の小金井 (3016 点) は、時系列 (ここでは示さない) をみると、2006 年頃から始まった隆起が最近加速している。茨城県南部の利根 (3014 点) は、時系列 (ここでは示さない) をみると、2010 年 7 月頃から西南西方向への変動が始まっている。茨城県北部の日立 (0042 点) は、時系列 (ここでは示さない) をみると、2010 年初め頃から南向きの変動が増大している。

第 2 図に、2007 年 12 月 2 日から 2010 年 6 月 5 日までの、半年ずつずらせた 1 年間ずつの地殻変位速度を示した。

(島田誠一)

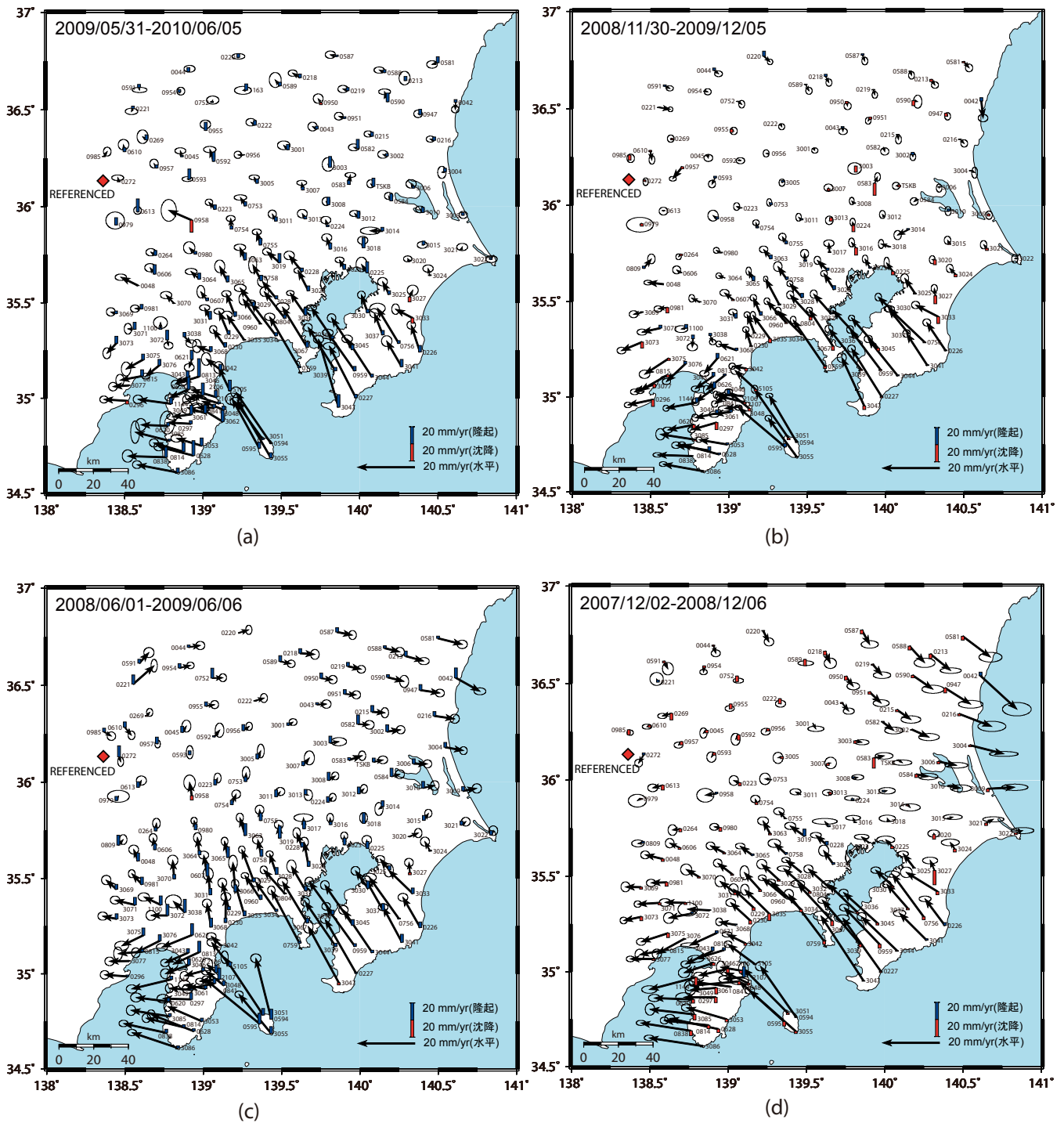
参 考 文 献

- 1) 防災科学技術研究所: 関東地方の GEONET 観測網による地殻変動 (2006 年 5 月～2009 年 5 月), 連絡会報, 82 (2009), 187-190.



第1図 白田観測点に対する関東地方の2009年11月29日から2010年12月4日までの1年間の地殻変位速度。水平成分の誤差楕円は1 σ (67%) の誤差を示す。

Fig. 1 Velocity fields around Kanto area relative to the USUD site during 1 year between 2009/11/29-2010/12/4. Horizontal error ellipse indicates 67% confidential level.



第2図 白田観測点に対する関東地方の2007年12月2日から2010年6月5日までの、半年ずつずらせた1年間ずつの地殻変位速度。水平成分の誤差楕円は1 σ (67%)の誤差を示す。

Fig. 2 Velocity fields around Kanto area relative to the USUD site during 1 year between (a)2009/5/31-2010/6/5, (b)2008/11/30-2009/12/5, (c)2008/6/1-2009/6/6, and (d)2007/12/2-2008/12/6. Horizontal error ellipse indicates 67% confidential level.